

2026年度 中国残留邦人への理解を深める集い 「中国残留日本人孤児」の歴史を語りつぐために

主催：神戸市（委託団体：中国「残留日本人孤児」を支援する兵庫の会）



画像提供：高橋村満洲開拓団の歴史を語り継ぐ会 副会長 山下文生

2026年11月8日(日)13:00 開演 (12:30 開場)
神戸市立垂水区文化センター・レバンテホール

**入場無料
予約不要**

プログラム

講演 『高橋村開拓団の集団自決という悲劇を語り継ぐ～数少ない生還者父の思いとともに～』

講師 「高橋村満洲開拓団の歴史を語り継ぐ会 副会長・山下文生（やましたふみき）さん

講演 『二世から見た中国残留邦人帰国者のいま、そして課題』

講師 多文化共生サービス三和之家 所長・田中 梢（たなかこずえ）さん



《山下文生さんプロフィール》

1960年出石郡但東町（現・豊岡市高橋地区）生まれ。兵庫県但馬県民局豊岡土木事務所土木業務技術員。父幸雄さんは1933年生まれ。1944年春家族7名で満洲高橋村開拓団（大兵庫開拓団）に加わり渡満。終戦直後8月17日集団入水自決。家族は亡くなり孤児帰還。1980年から語り手として講演活動。文生さんは2014年から加わり、現在「高橋村満洲開拓団の歴史を語り継ぐ会」の副会長として活動している。



《田中梢さんプロフィール》

1968年中国黒竜江省哈爾濱（ハルビン）生まれの中国残留孤児二世。中国の医科大学卒業後、産婦人科医として働く。日本に永住帰国した両親の看護、介護のため1992年永住帰国。日本でも医師として働くため、日本語習得、大学受験資格を取得するも合格は厳しかった。日本語教室でのボランティア、残留孤児の医療通訳などの後、ヘルパーの資格を取得し居宅介護の仕事始める。現在、2020年尼崎市に開所した残留孤児たちの介護施設「三和之家」所長。

アトラクション



兵庫県中国帰国者の会のみなさまによる歌舞演奏をお楽しみいただきます。

《兵庫県中国帰国者の会プロフィール》2015年12月に兵庫県下在住の中国残留邦人帰国者一世、二世を中心に創立。帰国者が抱える問題解決、帰国者間の交流などを目的に活動している。帰国者の要望が大きかった共同墓（兵庫県中国帰国者公墓）と中国残留孤児の苦難の歴史を刻んだ記念碑を、神戸市と兵庫県の協力を得て2019年に神戸市立舞子墓園内に建立した。現在は二世の問題に取り組んでいる。

【お願い】天候等の状況により中止する場合、断りなく内容を変更する場合がありますのでご了承ください。

【会場】レバンテ垂水2番館3階

JR/垂水駅から北東へ徒歩3分、山陽電鉄/垂水駅から北東へ徒歩3分

山陽電鉄バス/10・11・12・13・22・23の各系統「垂水東口」下車

山陽電鉄バス/1・2・3・4・5・9、及び市バス/48・57・59・171の各系統「垂水駅」

下車東へ徒歩5分

【お問い合わせ先】中国「残留日本人孤児」を支援する兵庫の会

〒658-0003 神戸市東灘区本山北町3丁目4-9 甲南ビル201号

☎090-8539-7021（水野）

